

2019年度 病院医学教育研究助成成果報告書

報告書提出年月日	2020年3月28日
研究・研修課題名	画像等手術支援認定診療放射線技師認定試験の受験
研究・研修組織名(所属)	診療放射線技師のスキルアップ(画像等手術支援認定診療放射線技師資格取得)(放射線部)
研究・研修責任者名(所属)	宮原 善徳(放射線部)
研究・研修実施者名(所属)	梶谷 尊郁(放射線部)

成果区分	<input type="checkbox"/> 学会発表 <input type="checkbox"/> 論文掲載 <input checked="" type="checkbox"/> 資格取得 <input type="checkbox"/> 認定更新 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input type="checkbox"/> 単位取得 <input type="checkbox"/> その他の成果()
該当者名(所属)	梶谷 尊郁(放射線部)
学会名(会期・場所)、認定名等	2019年度画像等手術支援認定診療放射線技師認定資格試験(2019年6月23日・東京大学病院)、日本診療放射線技師会
演題名・認証交付元等	日本診療放射線技師会
取得日・認定期間等	2019年9月1日取得
診療報酬加算の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 加算有(画像等手術支援加算(2,000点)) <input type="checkbox"/> 加算無

目的及び方法、成果の内容

① 目的

平成30年度診療報酬改定の中に、K939 画像等手術支援加算(2,000点)が変更された。これに伴い、日本診療放射線技師会は、画像等手術支援(Intelligent Imaging)認定診療放射線技師の認定(講習会受講と試験)を行っており、認定技師資格を取得する。

②方法

画像等手術支援認定講習会は昨年度受講しているので受験資格を取得している。

2019年6月23日(日)に東京大学病院で行われる2019年度画像等手術支援認定診療放射線技師認定資格試験に受験し、認定技師の資格を取得する。

② 成果

平成30年度診療報酬改定で、K939 画像等手術支援加算(2,000点)が変更された。この加算には、1. ナビゲーションによるもの、2. 実物大臓器立体モデルによるもの、3. 患者適合型手術支援ガイドによるものがある。

この中でも、ナビゲーションによるものは、手術前または手術中に得た画像を3次元に構築し、手術の過程において、3次元画像と術野の位置関係をリアルタイムにコンピューター上で処理することで、手術を補助する目的で用いることとされており、診療放射線技師が手術前にCT画像などから手術に役立つ3次元画像の構築することが求められるようになった。

2019年6月23日(日)に東京大学病院で行われた2019年度画像等手術支援認定診療放射線技師認定資格試験に受験し、認定技師の資格を取得した(認定番号:00278)。

画像等手術支援(Intelligent Imaging)認定診療放射線技師を取得したことで、画像診断に関する幅広い知識、画像診断装置から産出される3次元画像の質の向上と画像等手術支援に関連する支援画像および医療安全の確保、そして標準医療を担保し、国民の健康と福祉に貢献することができる。